

第 37 回 議会改革推進特別委員会

令和 6 年 7 月 10 日(水)
10 時 00 分 ～ 時 分
第 2 委員会室
(オンライン併用)

- 【委員】 牛尾委員長、西田副委員長
三浦委員 (オンライン)、村武委員、小川委員、布施委員、佐々木委員、
田畑委員
- 【議長団・委員外議員】
- 【事務局】 ~~下間局長、松井次長、小寺書記~~
-

議題

- 1 事務事業評価について
 - (1) 試行及び本格実施方法確認

 - (2) 評価試行

- 2 議会図書室の活用について
 - (1) 活用方法確認

 - (2) 議長報告内容の確認

- 3 その他

1 目的

市政（事業）に対する監視機能を強化し決算審査の充実を図る手段として、議会として特定の事業の評価を行い、当該事業の拡充、改善、廃止等の意見書を市に提出することにより、住民福祉の増進を図る。

2 実施主体

予算決算委員会とする。

予算決算委員会の所管は「予算及び決算の議案に関する事項」であるため、決算審査に絡めて実施。予算決算委員が所管委員会別に 3 グループに分かれるワーキンググループ（WG）方式で行う。

3 実施スケジュール

時期	R6 試行	R7 本格実施
3月中旬		令和 6 年度に実施した事業の中から事務事業評価を行う事業を全委員で選定し、議長に報告 (所管ごとに 2 事業程度、合計 6 事業程度を目安とする)
3月下旬		選定した事業を議長が市に通知し、主要施策等実績報告書への当該事業の掲載を依頼
4月～8月		所管委員会にて、選定した事業を所管事務調査事項として調査を行う
9月上旬	主要施策等実績報告書の提出を受け、予算決算委員会にて評価事業を選定する	
9月決算審査	事前通告による質疑で当該事業の深掘りを行う	
9月下旬	開議前 事前に全委員が事務事業評価シートをデータにて提出し、Sidebooks へアップロードしておく 【予算決算委員会の審査のまとめの日】 10：00 予算決算委員会開会、事務事業評価実施方法確認 10：10 予算決算委員会は休憩し、総務 G、福祉 G、産業 G に各委員会室に分かれ、同時に事務事業評価を行う 各 G において、これまでの質疑、調査、提出のシートを踏まえ評価意見書を作成する（午前中まで） 13：00 予算決算委員会を再開し、各 G から評価意見書を読み上げ、全委員で協議し意見書を仕上げる ※これまでの附帯決議の協議は必要に応じて行う	

時期	R6 試行	R7 本格実施
9月定例会議最終日	/	本会議において予算決算委員会提出議案として「評価意見書」を提出
翌年3月定例会議初日全員協議会		冒頭に評価意見書に対する当初予算への反映状況等の報告を受ける

【参考】小松島市議会の事務事業評価シート及び議会評価意見書

令和4年度小松島市事務事業評価シート（議会用）

（作成日 令和 5年 月 日）

事務事業名	評価議員名 氏名を選択してください							
-	-							
<p>■ 議員評価（該当にチェック）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="3" style="width: 10%;">事務事業の方向性</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">拡 充</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">縮小して継続</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">改善・効率化し継続</td> <td style="text-align: center;">休 止・廃 止</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">現状のまま継続</td> <td style="text-align: center;">完 了</td> </tr> </table>		事務事業の方向性	拡 充	縮小して継続	改善・効率化し継続	休 止・廃 止	現状のまま継続	完 了
事務事業の方向性	拡 充		縮小して継続					
	改善・効率化し継続		休 止・廃 止					
	現状のまま継続	完 了						
<p>■ 評価判定に至った理由</p> <div style="border: 1px solid black; height: 30px;"></div>								
<p>■ 今後の課題</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">今後の課題</td> <td style="width: 90%;"></td> </tr> </table>		今後の課題						
今後の課題								
<p>■ 今後の方向性</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">今後の方向性</td> <td style="width: 90%;"></td> </tr> </table>		今後の方向性						
今後の方向性								

各議員、それぞれ評価を記入する。

議会評価意見書①	
事 業 名	まち・ひと・しごと総合戦略事業 1-7（結婚新生活支援事業・頑張る学生応援産品等発送事業）
議 会 評 価	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>出会い・結婚生活のスタートから子育てまで、切れ目のない継続的な支援は必要であり、移住・定住の大きな要因となり得る。</p> <p>本事業は、人口減少に歯止めをかけるべく実施している事業であり、有効な支援策だが、広く周知されていない。市内外への広報の充実が求められる。</p> <p>若者世代に選ばれるまちとして、他市町村との差別化を図り、特化した小松島ならではのものを多く創出できるよう、さらなる取組が必要である。</p>	

浜田市立中央図書館のレファレンス機能の活用

議員の情報収集力強化につなげるため、浜田市立中央図書館と連携し、社会情勢や時事問題等に関する図書の選書を依頼する。

【中央図書館のレファレンス機能活用スキーム（案）】

- (1)定例会議前の議会運営委員会にて選書を依頼する分野を各会派から提案
(5会派から、人口減少、農業、洋上風力発電、ヤングケアラー、…など)
- (2)決定した選書分野を中央図書館へ通知し、選書を依頼
(5分野2冊ずつ、10冊を上限、既に蔵書のある書籍でも可)
(6月、9月、12月、3月の中央図書館選書会議にて協議)
- (3)依頼に基づいた中央図書館からの書籍情報を議会事務局へ情報提供
(情報提供のタイミングは確認中)
- (4)議会事務局から全議員へ LINE WORKS にて通知し、希望する議員は中央図書館で書籍を借りる

議員共有本棚の設置

各議員が政務活動費等で購入した書籍について、他の議員にも情報共有し議員の調査研究に資するため、全議員で共有可能な書棚「シェアする議会本棚」を議会図書室に設ける。書籍配置期間は提供する議員が自由に設定するが、期間の上限は議員任期の間とし議員改選期には更新する。共有可能な書籍の管理は浜田市議会図書室規程に基づき行う。

【(仮)シェアする議会本棚】運用（案）

- (1)議員が書籍を随時提供（勧める理由など一言コメントを併せて提出）
 - (2)新着書籍情報（コメント、設置期間等）として議会事務局から通知
 - (3)分野別に分類し議会図書室へ整理
- ※自宅等への持ち帰りも可（貸出期間は）
 ※まずは議員間での共有の本棚とする（市民への貸出し不可）
 ※以下の管理簿にて書籍情報、貸出情報等を管理

シェアする議会本棚 書籍管理簿

提供議員	提供期間	出版社	発行日	書籍タイトル	著者	一言コメント	議員貸出	市民貸出	借出者	借用期間
三浦議員	R6. 6. 4 ~R6. 8. 20	農文協	2009. 8. 20	未来についての想像力 農ある世界への構想	内山 節	農業という産業を地域の中でどう捉えていくか、この本を読んですごく感銘を受けた。				
牛尾議員	R6. 6. 4 ~R7. 10. 20	学陽書房	2021. 3. 23	1人から始める議会改革 —市民フリースピーチが 議会を変えた！	ビアンキ アン ソニー	一日議会のもととなるフリースピーチについて、アメリカ出身議員の著書。				
小川議員	R6. 6. 4 ~R7. 3. 31	イマジン出版	2013. 2. 5	歳出からみる自治体の姿 —自治体財政・支出の仕 組みと課題	町田 俊彦	自治体財政がよく分かりとても勉強になる。				
村武議員	R6. 6. 4 ~R7. 10. 20	朝日新聞出版	2022. 6. 30	誰も断らない こちら神奈川県座間市生 活支援課	篠原 匡	福祉環境委員会で視察に行った座間市の様子が詳しく分かる一冊です。				
西田議員	R6. 6. 4 ~R7. 10. 20	講談社	2018. 9. 20	本社は田舎に眠る	吉田 基晴	地域経済流出の傾向は否めない。田舎に本社があるかないかによって地域経済はうんと変わるという本である。				